

-----2月15日-----

今週のアウトルック (2/15~2/19)

先週はECBのギリシャ救済などの報道に右往左往した週となってしまいました。結果的にはどちらにも大きく動けず、レンジ内に収まってしまった形となりました。

ドル円はこのところだいたい189円から90円の間で収まってしまっています。この傾向はもう少し続くのかもしれませんが。

ただ、新興国からの資金引き揚げの本格化、NYダウの大幅下落などがあつた場合は円高に、米国の利上げ時期が早期具体化などの報道があつた場合には円安に振れる可能性もあります。

どちらかへ大きく動くキッカケ待ちの状態にあるのは変わらないので、報道にはより一層の注意が必要のように思います。

ドル円の予想レンジは87.5円から91.5円です。

ユーロ円は今週もECBのギリシャ救済報道に大きく左右されそうです。基本的には救済策の具体案が提出され、ユーロの反発というシナリオが有力ですが、具体案が出ない、または評価されない場合、売り浴びせにあう可能性も否定できません。またポルトガルやスペインの報道にも注意が必要のように思います。

ユーロ円の予想レンジは120円から125円です。

ポンド円は138円あたりの強いサポートラインに支えられて・・・、という見方もできますが、ここを抜けてしまうと一気に130円あたりまで下落してしまう可能性も否定できないように思います。また、ユーロが反発した場合は145円以上まで戻す可能性もあると思います。ドルやユーロの動きに注意する必要がありそうです。

予想レンジは138.5円から147円です。

今週は政治的な報道にサプライズがなければ、狭いレンジの動きで終わってしまいそうですが、サプライズがあつた場合、あるいはギリシャ救済がひと段落した場合には、大きく動く可能性も否定できません。動いた後についていく作戦でも良いかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。